

試練を越えて勝ち取る敵の門



思うことがあります・・・あの一、私にはちょっとした考えがありまして、このように、私たちが御言葉を読む時は人々が立っているのを見てみたいのです。そうではありませんか？ 私たちは忠誠を誓うために立ち、私たちの国のために私たちは立つのですから、御言葉のために今立ち上がってみませんか？

2 私たちが少し立っている間。私は少し前に、ある記事を読んでいまして、そして私はキリストのために立ち上がった人々のことを昨日の夜考えていました。もし一度もやったことがないなら、今日やってみませんか？

3 今から七十五年ほど前、有名な伝道者がいました、ただ私は彼の名前が思い浮かびません。アーサー・マッコイについてだったと思います、彼は国中を横断したのです。そしてある夜彼が光栄に渡った夢を見ました。そして彼は門まで来たと言い、そして彼らは彼を中に入れてくれないと言うのです。そして彼は言いました、「私はアメリカから来たアーサー・マッコイです。私は伝道者です。」

4 それで門番が入り、(これは夢でした)、そして彼は入って、言いました、「私はあなたの名前が全然見つからないのです。」

彼は言いました、「ええと、私は伝道者でした。」

彼は言いました、「先生、私は・・・」

5 彼は言いました、「ええと、もしかしたら・・・何かの間違っているだけなのかもしれません。」

6 彼は言いました、「いいえ、先生。本は私の前にあります。私はあなたの名前が全然見つからないのです。」

そして彼は言いました、「ええと、それについて私は何かできることはありますか？」

7 彼は言いました、「あなたはあなたの件を白い玉座の裁きに訴えることができるかもしれません。」神様、助けて下さい。私はそこに居たくないのです。

8 彼は言いました、「ええと、もしそれが私の唯一の希望であれば、それじゃあ自分の件を訴えるか。」

9 そしてそれから彼は遠くへ行ってしまったかのようにと言います、そしてちょうど…彼が向かっているとき、暗闇があったと言いました、そしてだんだん明るくなっていき、彼が言うにはこの光がまるでとどまる場所がなく広がっていき、彼はまさにその中心におられたのです。彼はこう言われたと言います、「我が裁きの王座に近づいてくるのは誰だ？」

10 彼は言いました、「私はアーサー・マッコイです。伝道者であり、多くの魂を王国に送りました。」

彼は言いました、「あなたの名前は本に載っていないのか？」

「いいえ。」

こう言います、「それであなたは私の法廷に申し立てを？」

「はい、その通りです。」

11 「あなたは正義を受けるであろう。私は私の法律であなたを裁く。アーサー・マッコイ、あなたは今まで嘘をついたことはあるのか？」

12 彼は言いました、「その光の中に立つまでは私は善良な人だと思っていました。」彼は言いました、「しかしその光の前では、私は罪人でした。」私たちが皆そう思うのです。あなたは今ほっとしているかもしれませんが、あなたがそこに着くまで待っててください。あなたはここで彼の油注いをどのように感じていますか？ほんの少ししか感じられないでしょう！その白い王座の裁きではそれはどうなるのでしょうか？

彼は言いました、「あなたは今まで嘘をついたことはあるのか？」

13 彼は言いました、「私は正直に話してきたつもりであって、いくつか小さなことがあってもそれは軽い嘘だと考えていまして、それが大きくなってそして黒くなってしまったのです。」

彼は言いました、「はい、そうです、私は嘘をつきました。」

彼は言いました、「あなたは今まで盗みをしたことはあるのか？」

14 彼は言いました、「自分は正直であったと思っていますし、盗みを働いたことはありません、」しかしこう言います、「その光を御前では、私—私は取引のいくつかを抜き取り、それが適切ではなかったことに気づきました。」

彼は言いました、「はい、そうです、私は盗みました。」

彼は言いました、「我が判決は・・・」

15 そして彼は自分の判決を聞く覚悟をしつつ、「悪魔とその天使のために用意された永遠の火に去ってしまえ、」全身の骨が砕けるためにと言われました。

16 こう言います、「人生で一番優しい声を聞いた。」彼は言いました、「振り返ったとき、今まで見たこともないような最も優しい顔を見ました；それは母の顔よりも優しく、母が私を呼ぶ声よりも優しい声でした。」こう言います、「私は周りを見回しました。そしてある声が聞こえ、こう言います、『父、それは本当のことです、彼は嘘を言ってそして彼はただ不誠実なだけでした。しかし、地上では彼が私のために立ってくれました、』こう言います、『今度は私が彼の代わりに立ちます。』」

17 それは私がそこで望んでいたことです。今は彼のために立ちたいのです、そうすれば、それが来た時、彼は私の代わりに立ってくれます。

18 創世記を読んでみましょう 22：15番、16番、17番、そして18番の節。

主の使は再び天からアブラハムを呼んで。

言った、主は言われた、わたしは自分をさして誓う、
あなたがこの事をし、あなたの子、あなたのひとり子
をも惜しまなかったので：

わたしは大いにあなたを祝福し、・・・大いにあなた
の子孫をふやして天の星のように、浜べによって砂の
ようにする；あなたの子孫は敵の門を打ち取り；

また地のもろもろの国民はあなたの子孫によって祝
福を得るであろう；あなたがわたしの言葉に従った
からである。

祈りましょう。

19 天なる父、今この聖句をお取りになり、主よ、私たちに奉
仕をしてください。聖なる霊がこの御言葉を持ち、主よ、す
べての心に包み隠さず届けてくれるよう。これらは素晴らしい
ことであり、そうすれば今日の午後私たちの期待を応えて
くれると、主よ。そして主は私たちの喜びが満ちあふれるよ
うに、豊かさを求めなさいとおっしゃいました。イエスの御
名において求めます。アーメン。

どうぞお座りください。

20 このテキストを呼ぶとしたら、少しの間に。マイクの近く
に立たなければならぬ理由は、私の声が小さいのです。そ
こに反響があるのは知っていますが、少しだけ我慢してみま
しょう。私はこのように呼びたいのです：**試練を越えて勝ち
取る敵の門。**

21 私たちにこの場面を開いてくれるのは最も素晴らしい場
面のひとつであるアブラハムのことです。アブラハムが信仰
の父であることはご存じでしょう。そして約束はアブラハム
になされたのです。そして唯一彼とともに相続人であるには、
キリストを通して、これが唯一約束を受け取る方法であり、そ
れはアブラハムを通してなされるのです。さて、アブラハム
はごく普通の人でしたが、神に呼ばれてそしてその呼びかけ
に忠実でした。神が彼に話しかけた時、アブラハムは一度も
その声を疑ったことはありませんでした。彼はその声と共に

あり続けました。いかなる困難があろうとも、彼はその声と共にあり続けました。

22 そして彼に息子を与えると約束されました。そして彼はその息子を迎えるために二十五年間も待ち続け、反対するものがいてもまるで無かったかのように呼びかけました。そしてそれから、この息子によって、地上にあるすべての家族が祝福されるのです。そしてその父祖はその呼びかけと約束された御言葉に忠実でした。

23 彼は私たちがどうあるべきかの模範でした。私たちは今、キリストにあって死んでいて、私たちはアブラハムの種なのです。

24 今、アブラハムには二つの種がありました。その中の一つは自然な種であり；もう一つは霊的な種です。その中の一つは、彼の肉から生まれた自然な者であり；もう一つは彼の信仰から生まれた種、その信仰は、約束された御言葉によって私たちはアブラハムの種になるのです。

25 そして今彼は二十五年という長い試練を経て、そして、弱くなるどころか、強くなっていたのです。分かるだろうか、もし最初の年に実現しなくても、次の年にはより大きな奇跡となるでしょう、なぜならそれは二年も経っているからです。そして彼は歳を積み重ね、老いていくにつれて、彼の体は死んでいくのでした。サラのそれらの子宮は、その子宮、また得られたのが、不妊でした。したがって彼の力は失われ、そしてそれは…全く不可能なことです。

26 神がそこで何をしたか考えたことはありますか？わかりますか、ただ彼女の子宮を再生しただけではありません。そのため、考えてみてください、もし彼がそれしかやらなかったら、もし彼がそれしかやらなかったら考えてみてください…彼らには牛からできた乳を赤ちゃんに与えるために、その当時は、健康で衛生的な哺乳瓶が、彼らには存在していなかったのです。わかりますか？彼女も必要としていた…彼女の乳の静脈が乾き切っていました。なので彼一彼はできなかつ

たのです… 何かがそこで起こらなければならないのです。

27 では、分娩をする、百歳の、女性を見てください。彼女の心臓は耐えられないでしょう。今の四十歳の女性が、これをやるには、大変なことです。彼女の心臓は耐えきれないです。それで彼は何をやったかご存知でしょうか？お気づきかと思いますが…

28 今多くが反対するかもしれないことを私は知っています。このような発言をしていいのでしょうか？わかりますか、私は… これは私の考えに過ぎないのです。

29 わかりますか、聖書は超自然的な本です。学校、神学者達にわからないように書かれています。それを知っていた人は何人いましたか？イエスは神に感謝しました。彼は言いました、「あなたをほめたたえます、父よ、これらの事を知恵のある者や賢い者に隠して、そして知ってもらうために幼な子にあらわしてくださいました。」これが愛の本なのです。その神の愛が心の中へ来られたとき、そうしたらあなたは神を愛するでしょう、そして自ら現されたのです、聖書の意味を。神が約束してくれたことを御自身で解釈してくれることが聖書の解釈なのです。しかし、聖書では、それは行間に書かれています。

30 今、私の妻のように、ああ、彼女は世界中の誰よりも素敵な女性であり、そして私は彼女を本当に愛しています。彼女は私を愛しています。そのため家を離れているときは、彼女が私に手紙を書いて、こういいます、「親愛なるビルへ、私は今夜子供たちを寝かしつけたばかりです。今日は洗濯をしました、」そして彼女が全てやってきたこととか、そしてその他。今彼女はその手紙にそう言います。しかし、あなたはわかりますか、私は彼女をすごく愛しています、そして私たちは全くの一つであり、私—私は行間を読むことができるくらいなのです。私は彼女の言いたいことが何かわかります、わかりますか、彼女が直接話しても話してくれなくてもです、わかりますか。私—私は彼女を理解できます、なぜならこれは彼

女への愛情であり、そして私はそう認識しているのです。

31 そうですね、すなわち聖書はそのように書かれていたのです。分かりますか？その一その学者たちの上を通り過ぎるのです；彼らには理解できないでしょう。わかりますか、あなたは御言葉を愛せなければなりません、彼、「彼を知るために。」わかりますか？

32 今、今ここでは、彼が何をやったか見てみましょう。さてアブラハムとサラは両方とも年をとっており、「年が進んで老人となり、」と聖書が言います。だからと言ってそれは人々がそこでただ長生きしていたわけではありません。聖書はこのように言いました、「彼らは年が進んで老人となった。」

33 今ご注目を、この天使が現れたあとすぐ、いつも私たちは話していました；それはエロヒムである、神。そして彼は言いました、アブラハムに言いました、「このような年の今頃にわたしはかならずあなたの所に帰ってきましょう。」さあ最後まですべて見てみましょう、彼らは教会の典型であり、下の方まで行きましょう。

34 さあ見てください。ここで何が起きたか。さて、彼はただサラを治療しただけではありません、そしてアブラハムを治療しただけではありません。彼らは若い男性と女性に彼は戻したのです。今ではそれは奇妙に思われるかもしれませんが、しかし御言葉がおっしゃっていたことを見て、そして繋げていきましょう。御言葉は靈感の影響を受けていて、そしてあなたも御言葉に影響されなければならないのです。さて、思い出してください、そのあとすぐに、この天使が現れたあとすぐに・・・

35 私には想像できます、灰色になったサラの髪、小さなおばあちゃんがショールを肩に掛けて、埃から保護する小さな帽子と、つかみ棒を持って、歩き回る。「わたし、と主人に楽しみなどありえようか、彼もまた老人である、のに？」わかりますか？そしてここにアブラハムがいます、この長い髭に、つかみ棒をもって、彼がそうだったように、年が進んで老人と

なったのです。

36 そして私は見たのです、その次の朝、彼の肩が真っすぐになり始め、丸くなった背中がなくなりました。彼の髪は黒くなり始めました。彼らは若い男性と女性に戻ったのです。彼がアブラハムの王家な種に何をしようとしておられるかをただ示されているだけなのです、わかりますか、私たちを「またたく間に、一瞬にして変えられ、そして彼らと共に引き上げられる。」

37 何が起きたか見てみましょう。では私にこれらを証明させてください。彼らは自分たちがいた場所から旅に出かけました、ゴモラの方に；そしてゲラルにたどり着くまで行きまして、ペリシテの地にとどまりました。気づきましたか？どれくらいの距離があるか、地図に印を付けてください。高齢のご夫婦にはただごとではないのです。

38 そしてそれから、それらに加え、ペーペリシテの地で、そこにアビメレクという名前の若い王がいました。そして彼は妻になる女性を探していました。そして彼にはペリシテの美しい娘たちがいましたが、しかし彼がおぼちゃんを見た時、彼は言いました、「この女性を見るからに美しい、」そして彼は彼女に恋をしてそして彼女と結婚をしようとしていました。その通りです。アーハッ。わかりますか、彼女は美しかったです。わかりますか？

39 彼女は若い女性に戻ったのです。注目してください、赤ちゃんを持つために、彼女には必要なことでした。神は彼女を新しく造られました。そしてその赤ちゃんを育てるには、彼女には必要なことでした。そして思い出してください、アブラハムは、「彼自身のからだが生んだ状態であり、」そしてサラが亡くなったときアブラハムは・・・サラが亡くなった時、イサクは四十五歳だったと、思います。その後、アブラハムは別の女性と結婚をして娘たち以外に七人の息子をもうけました。アーメン。

40 わかりますか、行間を読むことができるのです。これは典

型なのです。彼がアブラハムの子どもたち全員に何をしようとしておられるかを示されているのです。ただ私たちは今それに近づいていて、したがって私たちが肩を落としたところで全て何も変わりません、友よ。そして私達の白髪が生えようが何が起ころうが、今はもう関係ありません。私たちは振り返りません。前を向いて進んでいきましょう。

41 そして思い出して下さい、約束の子が生まれる前に、私たちが見ているこのしるしは、アブラハムとサラが見た最後のしるしなのです。私たちは今その時を迎えていることを信じています。

42 父祖は、この男の子が生まれた後・・・あなたはイサクを想像できますか、十二歳くらいの；小さくて愛らしい、巻き毛の少年、小さくて茶色の目をしていました？彼を思う母親の気持ちが想像できます；若くて美しい女性、そのつぎに、彼の父親。ある日、神はいいました、今、ひとつの例を挙げます；私たちとは全然違いますが、その時が来ることになります。「この少年によって、私はお前を多くの国民の父にした、しかし私は君にその少年を私が見せる山の頂上まで連れて行ってほしい、そして生け贄としてその子を、その場所で殺してほしい。」あなたは想像できますか？

43 あなたはそのような試練を受けるよう言われたことはないでしょう。神はそのようなことを今しません。それは一例であって、影なのです。

44 アブラハムは恐れてましたか？いいえ、違います。アブラハムはこう言いました、「私は神が息子を死者の中から蘇らせることができると確信しています、なぜなら死んでいるのと変わらない私が彼を受け入れたのです。もし神の戒めにより私がそうしなければならぬとき、私がそれを忠実に守り、そして報われたからこそ、私に息子を与えてくださったのです；神は彼を死者の中から蘇らせることができるのです；私のような死人の中でも彼を受け入れました、象徴として。」

45 ああ、なんということでしょう、友よ！もし神があなた方

にペンテコステ派の聖霊を与えられ、異言を語らせるのであれば、あなた方はどれほど彼の癒しの力を信じるべきか、そして彼の善意と憐れみを！もし彼がそうしたら、国中の神学者全員に反対されます！彼らはそのようなことはできないと言いましたが、しかし神は約束されたから起こしたのです。それからあなたは銃を持って立ち、あなたの言葉、あなたの剣、神の御言葉を信じてください。神がそうおっしゃいました、それで解決なのです！

46 ご注目ください、今、彼はそこからの旅を三日間もかかったのです、ラバたちをつれて。私は今歩けます、警備をやっていた頃、私は三十マイルの距離を毎日歩いていき、荒野を通り抜けました；私たちにはエンジン付きの足があったようなものでした、呼べるとしたら。しかし彼らには、移動手段が限られていて、ロバに乗るかそーそれか歩くかのどちらかです。そして彼は自分がいた場所から三日間の旅をして、そして目で見渡すと、荒野が広がり、はるか遠くに山が見えました。

47 彼はイサクを連れていきそしてその手を縛りました。皆が、知っているように、この創世記22章にあるのは、キリストの典型なのです。イサクは山へ連れていかれ、縛られ、イエスが山へ連れていかれたように、カリバリの山に；神が御子を遣わされたときのような典型であり、もちろんそうなのです。

48 しかし彼らがそこに着いた時、彼は素直であり、イサクは少しづつ疑い始めました。彼は言いました、「父よ、ここに薪があり、祭壇があり、火がありますが、しかし生け贄はどこにあるのですか？」

49 そしてアブラハムは、心の中で知っていながら、神の御言葉に立っていて、彼はこう言いました、「息子よ、神はみずから生け贄を備えてくださるであろう。」彼はその場所をこう呼びました、「エホバ・エレ。」

50 そして彼が息子を縛ったとき、彼は死ぬまで従順でした；彼を祭壇の上に寝かせ、鞘から包丁を抜き取り、自分の息子

の命を絶とうとしました。そして、その時、何かが彼の手を掴んで、こう言います、「アブラハム、あなたの手を止めなさい。」

51 そしてその時、鳴いていた雄羊が、彼の後ろに、彼の角が荒野で引っかかっていたのです。

52 その雄羊がどこから来たのか、考えたことはありますか？ 思い出して下さい、この国にはライオンやオオカミとジャッカルなど、そしてその羊を食い荒らす獣たち。彼は文明からどれくらい離れていたのでしょうか？そして、それから、山の頂上では、水がないところです。そしてアブラハムは祭壇を作るために、あちこちで、石を拾い集めました。雄羊はどこから来たのでしょうか？わかりますか？

53 しかしそれは幻ではありません。彼は雄羊を殺しました；血が流れていたのです。彼は何と言ったでしょう？「神みずから燔祭の生け贄を備えてくださるであろう。」

54 どのようにして**あなたは**その車椅子から脱出できますか？ どのようにして痙攣性のある**それら**の子供が治るのでしょうか、あるいは**あなた**をその車椅子から降ろすか、そこから来た**あなた**、心臓に病を抱えている**あなたは**？いかなる問題であれ、「神は御自身に養うことができます。」

55 アブラハムはそれを信じました。父祖は約束に忠実であり続けました。そして彼は約束を与えた、それは、「あなたの種！あなたは私の言葉を信じたから、いかなる状況であろうと、あなたの種は敵の門を勝ち取るだろう。」

56 なぜ？あらゆる敵が現れて、例えるとして、アブラハムに敵対する、アブラー・・・敵は、「彼女は年を取り過ぎている。私も年を取り過ぎている。全ての**これら**、そして他の何もかも。」彼はそれでもその約束に忠実であり続けました。

57 さて、そのような信仰を掴み取った人は、どのような状況であっても神の御言葉を受け入れます。では、あなたはそれができないならば、それはあなたがアブラハムの種ではあり

ません。それがアブラハムにあった信仰であって、彼の種です。

58 アブラハムとの約束は彼の「種、」彼の王家の種、でもあり、私が少し前にお話ししたように。そして彼がアブラハムにお与えになったこの封印は、約束の封印でした。そして王家の種は、エペソ人への手紙4：30によれば、それは「聖霊によって封印されます、」彼らが試練に耐えた後にです。それについて考えてみて下さい。

59 多くの人が自分が聖霊を受けたと思っています。多くの人が自分には聖霊が宿っていると主張します。多くの人がその証拠や兆候を示すことができます。しかし、それでも、もしこの御言葉に留まることができなければ、それは聖霊ではありません。わかりますか？

60 あなたはすべての御言葉を信じて、そうすれば試練の後に封印されます。御言葉にあるすべての約束を信じたとき、私たちは御霊によって封印されるのです、その約束を証明するために。そうです、それがアブラハムに起こったことであり、彼のやり方です。そして、そのときのみ、私たちは敵の門を勝ち取る権利が得られるのです。まずは自分がその種にならなければそれを行うことはできません。思い出してください、聖書では・・・

61 私はそれについて話したことがあり、ヒューストンまたはどこか、別の場所・・・また、私が言いたかったのはダラスでした。**そのしるし。**

62 さあ、そーそのユダヤ人は、イスラエルにおいて、割礼によって彼がユダヤ人であることを示すことができました。しかし神は言いました、「わたしはその血を見たとき！そして血はあなた方のしるしとなるでしょう。」

63 その血の中にあつた命は礼拝者に來ることはできません、なぜなら、そうですね、それは動物の命だからであり、それは本物の命に近づくための単なる影です。その上、その化学的

物質、血液そのものが、扉と扉の柱の上を赤く染めなければなりませんでした。

64 ヒソップで塗布、それは単なる一般的な雑草であり、それは超信仰を持つ必要がないことを示しています。あなたはただ同じものを持っている必要があります、あなたが得た信仰は、あなたがあなたの車を始動させる必要があるように、教会へ向かう。分かりますか？多くの人は自分が何かにならなければならないと思っています・・・しかし、いいえ、いいえ、それは間違いです。血を塗るために必要なすべては単純な信仰だけです。御言葉を聞き、そして御言葉を信じて、それを塗る、それだけです。パレスチナではどこにでもある雑草を拾い、それがヒソップ、ただ小さな雑草が壁のひび割れから成長し、そして周りに、その血に浸してそして扉の上と扉の柱に塗りました。

65 そして、覚えて下さい、彼らがどれほど契約に関わっていたか私は気にしません、ユダヤ人が割礼を受けていることをどれだけ示せたか、彼がどれだけ善良な人であったかは気にしません、そこにその一そのしるしがない限り全ての契約は無効になるのです。「わたしはその血を見たとき、」だけののです。

66 さて、その血は今、そのしるしは、化学的物質ではなく、物質はキリストの血であって、それは何千年も前に流れていたからです。

67 しかし、あなたは見えていますか、そこには・・・物質である必要がそこにあり、動物にある命が人間に来ることはありません、なぜならその動物の命には魂がないからです。動物には善悪を区別できません。魂を持っているのは人間だけです。

68 今、しかしイエスが、神の御子が、処女から生まれ、血を流されたとき、その血の中にあつた命は神そのものでした。聖書には、「私たちは神の命、神の血によって救われる。」それはユダヤ人の血でもなく、異邦人の血でもなく；神の命です。

神は血球を創造され、処女から生まれました。彼女はどの男性とも寝ていませんし、彼女も・・・卵子が彼女から生まれたものではありません。

69 あなたがたの多くは卵が彼のだと信じていることを私は知っています。卵に感覚がなければそこにいられることはできません、では神は何をされるのでしょうか？わかりますか？

70 彼は卵子と血球細胞の両方をつくられ、それが神の幕屋となるのであり、聖なるもの。「わたしの聖者が朽ち果てるようなことはお許しにならないであろう。」卵がどこから来られたか分かりますか？「どちらも私は彼の魂を地獄に残しません。」彼の体は聖なるものです！ああ、なんということでしょう！もしあなたが、それを信じられないなら、どうやって自分をクリスチャンと呼べますか？

71 「私たちは神の血によって救われた。」それが私にある信仰です。預言者の血によって歩んだりしないで下さい、一般人の血によって歩んだりしないで下さい、または教師、または神学者。私たちは神の血によって歩むのです。神はそう言いました。彼は肉体となったのです。彼は彼の繊維を変えられたのです。彼はここに彼のテントを張り、私たちと一緒に、そして私たちと同じになったのです。彼は私たちの贖う近親者です。彼は私たちの近親者になる必要があるのであり、それが律法だったからです。神は肉体となって私たちのうちに住まわれました。

72 どうなったかご注目を、これらやることに、彼自身が彼から来られた、それが神であって、その霊、そしてその霊が信じる者にくださるのです。したがって、私たちの犠牲の中に命があり、私たちはその同じ命によって識別されるのです。

73 それならどのように神のいのちが人々のうちに動いているのを見て、それを汚れたものと呼んで、その犠牲が私たちの識別であるのに？「わたしを信じる者は、またわたしのしているわざをするであろう。」彼の命が帰られた生け一・・・生け贄から、私たちがその上に手を置いたときにそれは自分自身

の思考に対して死んでいることを識別するのです。それではどうして私たちは教派に信条や物事を押し付けられ、それを信じていると言えるのでしょうか？私たちはそういうものに対して死んでいるのです。

74 パウロは言いました、「これらのどれもがわたしを困らせない、」彼は絶対的に縛られていたのです、キリストに。すべての真の功績には絶対的と結びついており、そして私の絶対的御言葉です。そして他の皆も、それら—それらは確かに霊から生まれおり、彼らの絶対的なものは神の言葉です。私はそれに縛られています。私はそれに手を置きました。そして私の身代わりとなり、私は彼と一体化なったのです。彼が私たちと同一視してくださると約束してくださったことを私たちは知っています。それは純粹の信仰をもたらずのであり；自分の信仰ではなく、彼の信仰です；何かがあなたに制御できないのです。彼がそうしているのです。今注目してください。その時、そしてその時にだけ、約束は・・・あなたになされるのです。

75 あなたがいくつの教会に入ろうとも、あなたが何度洗礼を受けようとも；前方でも、後方でも、あなたが好きな方でもです。その証印に押されるまでは、したがってあなたの生け贄がつながっていると名乗る資格はありません。

76 神の証印とは何でしょうか？エペソ4：30、こう言います、「神の聖霊を悲しませてはいけない、あなたがたはあがないの日のために聖霊の証印を受けたのである。」あるリバイバルから別のリバイバルへではなく、あなたが贖われる日まで永遠に封印されているのです。

77 そして、覚えておいてください、もしあなたが一度も神の思いの中にいたことがないのなら、あなたは決して神とともにいることはありません。彼が贖い主であったことをどれだけの人が知っているのでしょうか？まあ、それで、贖罪されたものは落ちた場所から戻らなければなりません。だからもし彼が私たちを贖うために来られたのなら、どうして私たちは、

あるとき贖う必要がなかったのでしょうか、そして私たちは皆「罪のうちに生まれ、不義のなかに形作られ、嘘を言いながら世に出た」？ 真のクリスチャンは神の思考の属性であることを示しています。世の中が存在する前から、星も、空気も、何もかもが。それは永遠であり、そして私たちを贖い戻すために彼は来てくださったのです。それは神の思考であり、言葉として語られ、明らかにされそして再・・・神の思考に戻されるのです。

78 贖う近親者！それが理由で神ご自身が私たちの一つになられたのであり、贖うためです。他の誰にもできないことです。天使にもできません、誰もいません。彼が降りてこなければなりません、私たちと同じように誘惑を受け、私たちを贖うために。

79 アブラハムの自然な種に注目してください。その自然の種をいくつか調べて、神が自然の種と共に御言葉を守られたかどうかを見てみましょう、イサクにあったことです。神の完全なる約束を信じて何の疑問も持たなかった自然種をいくつか確認してみましょう。今思い出して下さい、それらが一万回の何千万回を何万に掛けて割礼を何もかも受けているのに、未だにアブラハムの種ではなかったのです。確かに、「外見上のユダヤ人がユダヤ人ではなく；隠れたユダヤ人がユダヤ人であり。」彼ら、彼らの多くは、失敗し、ひどく失敗しました。

80 見てください、荒野では、彼は言いました、「私たちは・・・」過ぎ越しの祭りの日に、または泉で飲んでいたり、聖ヨハネ6。彼らはみな喜んでいました。

81 イエスは言いました、「わたしが荒野にあったその岩。わたしは神から来たパンであり、天から下ってきて、パンを食べる人は決して死ぬことはない。」

82 彼らは言いました、「わたしたちの先祖は荒野でマナを四十年、食べていました。」

彼は言いました、「そして彼らは、皆、死んでしまった。」

83 **死ぬ**、その言葉を受け取りそして追い、これが何を意味するのかを見てください、「永遠に切り離された。」しかし、彼らはアブラハムの種でした。**死**の意味とは「分離、消滅、完全に破壊された、消滅。」イエスは言いました、彼ら皆一人一人死んだ、しかし彼らは割礼を受けたユダヤ人でした。

84 わかりますか、かわいそうな人たち、私たちはメソジストだからと言って、バプテスト、長老派、ちょっとした告解をしたり、そしてそのようなことをしたり；悪魔も私たちと同じように信じています。

85 しかしここであなたは識別されなければなりません。聖霊の証印をによって、神はここで証人になってくれます。御言葉に疑問はありません！

86 あなたはこう言うとし、**「いやいや、今では、それは昔にあった話だ、」**それは何かが間違っています。

87 もしある男が走りながら向かってきて、そして彼に光が輝いていると告げ、そして彼は地下室へ駆け下り、こう言います、「とにかく私は断る。とにかく私は断る。君が言う光なんて存在しない。私はそれらを信じない」？その男には何かがおかしいのです。彼は精神障害を抱えていることでしょう。もし彼がその暖かい光線と生命を与える資源を拒むなら、彼には何かがおかしい、精神的にです。

88 もし人が神の御言葉を目にした時、人の前に明らかにされ、認識し、そして自分の宗派のカーテンを引き下げて閉めたとき、その人には何かがおかしい、霊的に。彼には何かがおかしいのです。霊的に何かがおかしいのです。彼はそれを受け入れません。「目の見えない者、であることに気がついていない、」彼らは裁きを受けるようになり、そして神が裁きます。

89 見てください彼一彼らがそうしたとき、そして今ここにある種はこれらを信じており、どうなったのか見てみましょう。アブラハムの子孫を何人か、見ていきましょう。

90 ヘブライの子供たちを例にしましょう、なぜなら彼らは偶像の礼拝を容認しなかった上に忠実に立っていました。彼ら

は国の王が造った偶像にひれ伏すことを拒みました。それは聖人に似せて作られたものであって、それも、ダニエルの像です。

91 それは異邦人が間違った方に連れていかれたことを表していて、それは聖人の像を崇拝するということです。今同じことが起きていて、それは人々が人の像を崇拝することを強いられるときです。それは啓示によって来られるため、ダニエルは御言葉の解釈をすることができて、その壁に書かれていた手書きのことです。それが異邦人の像が、入ってきた道であり、そして出ていく道でもあり、同じ道なのです。

92 ご注目下さい、彼らはそれを断ったのです。彼らは何をしましたか？彼らは御言葉に忠実に立っているアブラハムの子孫であり、そして彼らは敵の門を勝ち取り、火の門を。彼らはやりました。まあ、神の御言葉は真実です。

93 ダニエルは、真なる唯一の神を礼拝するために試されたのです。彼はそのために試されました。そして試練の時、彼はその試練に立ち向かいました。そして神はどのようにして、彼が切羽詰まっているように見えた後、このように言いますよね？彼らは何をすべきか分からなかったのです。彼らは彼をライオンの餌にしようとしてしました。しかしダニエルは試練に忠実であり続け、真なる唯一の神がいるということ、そして彼は敵の門を勝ち取りました。神はライオンの口を閉じたのです。

94 モーセは約束された御言葉に忠実であり続け、偽りのなりすまし者、ヤンネとヤンブレを前にして、試されました。見てください、神は超自然的な方法で、彼と会い、これらのことをしなさいと言われ、これらのしるしを示しなさい、そしてそれぞれのしるしには声がありました。モーセはそこに向かって行き、彼は間違っていないと確信しているように。彼が棒を投げつけて、そしてそれは蛇に変わりました。何が起きたと思いますか？なりすまし者がやって来られそして同じことをやったのです。

95 さて、モーセは手を上げてこのようには、言いません、「まあ、これはおそらく事実ではなかったのね。」彼はそこに留まり神を待ちました。彼は忠実であり続けました。どんなに多くのなりすましがいても、彼は忠実であり続けました。そして彼は任務に忠実であり続け、人々をその場所から連れ出すため、彼を邪魔する水門を通るとき、神は彼にそれを勝ち取らせ、そして彼を導く火の柱によって門を開かれました。彼は民を約束の地へと導いてくれました。

96 ヨシュア、もう一人の偉大な指導者。二人だけが…約束の地に入れたのであって、それはヨシュアとカレブ。彼らはカデシュという名の場所に行き、当時のそれは世界の中心であり、そのようにそこが裁判の席でした。そして、ああ、彼らは土地を調べさせるために十二人の探偵を派遣して、そしてその十二人が帰ってきたのです。

97 そのうちの十人はこういいます、「ああ、あれは不可能だ。私たちには無理なことだ。まあ、向こうの人たちと、私たちを並べたらバツタみたいなものですよ。」

98 しかしヨシュアは何をしましたか？彼は民を静めました。彼はいいました、「ちょっと待て。それを奪うのに私たちには十分できる、私たちがどんなに小さくても、または少ない人数のなかでも。」彼は何をしていたのですか？彼はその約束を守り続けたのであって、「わたしはあなたがたに地を与える、」しかしあなたは隔々の分まで戦わなくてはいけないのです。

99 あなたは信じますか、お母さん？神様はあなたに癒しを与えてくださいました、しかしあなたは隔々の分まで戦わなくてはいけないのです。「あなたが足の裏で踏む所はみな、あなたがたに与えた。」**足跡**とはこいう意味です「所有。」すべてあなたのもの、すべての約束はあなたのもの、しかしあなたは今通るその隔々の分まで戦うことになるでしょう。

100 今、ヨシュアは神が言っていることを理解しています。彼はアブラハムの子孫でした。わかりますか？彼は言いました、「私は信じている、神がその土地をわれらに与えたと、そ

してそれを奪うのに私たちには十分できる。」そして彼は試練に立ち向かい、イスラエルの群れ全体に対して、すべての部族とすべての民はうめき声と叫び出した。ヨシュアは言いました、「静まれ！神が約束されたのです。」

101 あなたがどんなに大きくても、そして反対するものが何を言おうと、医者が何と言おうと、神は約束を与えてくださいます。それは神次第なのです。

102 彼は何をしたのでしょうか？彼がヨルダン川を下ったとき、彼は門を勝ち取りました。それが彼一彼がしたことです。

103 エリコは、亀の甲羅のように閉ざされていました。彼は何をしたのでしょうか？彼は門を勝ち取りました。

104 敵が彼を連れ去ろうとしたある日の時、彼は太陽を静止させるように命じるほど彼は敵の門を勝ち取りました。そして太陽は彼に従い、二十四時間のあいだ決して回ることはありませんでした。

105 たとえ彼が何をしようと、神は約束に忠実なのです；御言葉を破られる前に彼は天を破産させるでしょう。彼は決して守れない約束をつくったりしません。「わたしがあなたのすべての病をいやす主である。もし病人に手をおけば、いやされる。」アーメン。「信じることができれば、どんな事でもできる。」

106 ヨシュアはそれを信じていて、そうは言うものの神は地球の回転を静止したのです。何らかの力によって止めさせ、彼自身の力によって；ヨシュアが敵に向かって復讐できるまで、世界は二十四時間回転することはなかったのです。彼は門を奪いました。確かに、彼はやりました。神は真実である。

107 英雄たちの話をする時間をもっとあればいいのですが、しかし私にはあと十分ほどしかありません。見てください、これらの貴重な英雄たち、彼らはそうであったように、そして信仰の偉大な戦士たち、彼らの全員は死の門で亡くなったのです。彼らは皆滅びて、まさに死の門なのです。

108 アブラハムの王家の種がやってきました。彼らは皆自然の種である、イサクからのです。しかしここにアブラハムの王家の種が来られ、すなわちキリストであり、アブラハムの信仰の種です。私たちがどうあるべきか、私たちがそうであるかそうでないか見てみましょう。自然の種とは一つの典型なのです。他のすべての人は自然分娩で生まれましたが、彼は処女懐胎で生まれました。わかりますか、それはアブラハムの子孫ではなく、それから、ユダヤ人でもないです。彼は約束された信仰の種によって来られたのです。そして、したがって、私たちは彼の子どものはずであると、この方を通してです。

109 彼がなされたことをご覧ください。彼が地上におられたとき、敵が持つすべての門を彼は征服し勝ち取りました；それが王家の種。彼は御言葉によって約束されました。彼はそれを打ち勝ったのです。彼は病気の門を打ち勝ったのです、私たちのために。彼が来てくださったのはそのためです。彼を、思い出してください、病人の人たち、彼はその門を打ち勝ったのです。あなたが征服する必要はありません；彼がもう征服したのです。他の男たちは自分の門を征服しなければなりませんでした。しかしあなたは征服する必要はありません；すでに打ち勝っているのです。彼は病気の門を打ち勝ちました。病気の門を打ち勝ったとき彼は何をされたのでしょうか？彼はそうするだろうと言い・・・あなたが地上で求めたもの、あなたが地上で縛ったものは何でも、彼はそれを天で縛り、私たちに門の鍵を与えてくださるでしょう。

110 彼は誘惑の門を打ち勝ったのです、御言葉によって。その鍵とはこういうものです、「敵に抵抗すれば、敵はあなたから逃げ去る。」彼はすべてに打ち勝っているのです；あらゆる病気に打ち勝ちました。

111 彼は死を打ち勝ち、そして彼は地獄を打ち勝ちました。彼は死と地獄を打ち勝ったのです。彼は他の人たちが征服できなかったことを征服し、なぜなら彼らは自然な種だからです。これは霊的な種なのです。彼は墓の門を打ち勝ち、そして三日目によみがえられた、わたしたちが義とされるために。

112 「そしてわたしたちは今これらのすべての事において征服者以上の者だ。」私たちはただそこに向かって歩いているだけであって、相続人として、「征服者以上の者です。」私たちはいま敗北した敵を相手にしています。病気に勝ちました。死に勝ちました。地獄に勝ちました。すべてに勝ちました。ああ、なんということでしょう！私の大きさが二倍でしたら、私を感じるものも同様の二倍になっていることでしょう。私たちが打ち勝っている敵と争っているのです。

113 パウロが言ったのも不思議ではありません、彼の首を切り落とすために、彼らが積み木をしているとき、彼は言いました、「死よ、おまえのとげはどこにあるの？私がもがき悲鳴を上げさせる場所を教えてくれ。死よ、おまえの勝利はどこにあるのか、あなたは私をその型にはめたつもりですか？向こう側に中身のない墓をあなたに教える；そして私は彼の中にいて、彼は終わりの日に私をよみがえらせるでしょう。」敗北された敵！

114 アブラハムの王家な種！今、自然の種はそれを指し示すことができません。しかし王家の種は征服することができます、すでに打ち勝っています、なぜなら彼は私たちの前に出てくれて私たちのためにすべての門を打ち勝ってくれたからです。彼は今、二千年の時を経て、今もなお彼は私たちの真ん中に立っておられ、それが強力な征服者。彼は病気に打ち勝ただけではありません・・・彼は病気を打ち勝ち。彼は誘惑を打ち勝ち。あらゆる敵にも彼は打ち勝ったのです。彼は死を打ち勝ちました。彼は地獄を打ち勝ちました。彼は墓を打ち勝ち、よみがえられたのです。そして二千年のあとでも、彼は私たちのうちに立ち、きょうの午後、彼の身分を明らかにし、強力な征服者であると！アーメン。彼はまだここにおられ、生きておられ、彼の約束を証明し、アブラハムの王家な種！ああ、なんということでしょう！そして敵たちは・・・

115 「彼は敵の門を征服する。」それらの、種は、彼は誰のためにここに立ってご自分を立証するために生きておられるでしょう？それはあらかじめ定められた種たちがそれを見ること

ができるようになるからです。彼はそれに打ち勝ったのです。誰もが、約束された、御言葉に試された後、彼らは聖霊の証印をおされ、キリストのからだに、彼らが確認できるように（何を？）ヘブル13：8がそうであることを。彼らはそこで聖霊によって証印をおされ、その聖霊というのが・・・アブラハムが予見しました；信仰によってそれを信じたのです。彼から言われた約束を振り返り、私たちは今それを受け取りました。そしてヨハネ14：12はこの終わりの日に立証されたのであり、それは復活した征服者、彼自身によって。

116 組織的ではなく；個人である、キリスト、という征服者です。私の教会でもなく、私のバプテスト教会でもなく、長老派、メソジスト派、それかペンテコステ派、それらによってではありません；イエス・キリストによってです。彼は今日も生きておられます。私たちの義認のために、その上によみがえられたのです。

117 主が生きておられるから、私たちも生きていけると彼は言いました。「人はパンだけで生きるものではなく、一つ一つの言で、」御言葉の一部ではありません、「神の口から出る一つ一つの言で生きるものである。」「わたしはよみがえりでありそして命である。わたしを信じる者は、たとえ死んでも、生きる。生きていてわたしを信じる者はだれでも決して死ぬことはありません。あなたはこれを信じるか？」すべての敵の門を取りなさい！

118 どのように彼はボズワースを征服できたのでしょうか、神が・・・ボズワースは征服していた。だから彼はこう言ったのです、「今が人生で一番幸せな時だ。」アーハッ。彼はその偉大な征服者を知っていたのです。彼には確信していました。ああ、なんとということでしょう！私たちは今歌うことができます；

「生きている、私を愛し；死んでいる、私を救ってくださいました；
埋葬されて、私の罪を遠くまで運んでくださ

いました；
立ち上がり、彼は義として永遠に自由：
いつか主が来られる—ああ、栄光の日よ！

119 負けそうになる人たちに。エディ・ペロネット、だっと思いましたが、彼はクリスチャンの曲を売ることができませんでした。誰も欲しがらないのです。彼らには関係のないことです。ああ、負けそうになった、そのような信じる者は！ある日、聖霊が彼にくだる時。彼の敵の門は、彼の文学を受け入れないのです！その聖霊に打たれ、彼はペンを握りしめ、神が就任式の歌を書かせました。

イエスの御名の力を讃えましょう！
天使がひれ伏すだろう；
王室の冠を取り出そう、
そして皆の主の冠を授ける。

120 盲目のファニー・クロスビー、ある時。こう言います、「あなたにとってそれはどれくらいの価値ですか？」なかには・・・彼女はペンテコステ派のエルビス・プレスリーのように生まれながらの権利を売ったわけではありません、それかキリストの教会のブーンのように、あるいはレッド・フォーリーのように、自分たちの才能を世界に売っていたのです；彼らは並べられたキャデラックと、そして百万ドルの、レコード賞を手に入れました。しかしファニー・クロスビーは自分がいるべきところに忠実でした。彼女は叫びました；

優しい救世主よ、私を追い越さないでください、
私のささやかな叫びを聞いてください；
汝は他の者に呼びかけながら、
私を追い越さないでください。

あなたは私のすべての慰めの流れ、
私にとっては人生以上、
この地上にあなたのほかに誰がいますか？

それとも天にはあなた以外に誰がいるの
 ですか？

121 彼らは言いました、「天国に行ったときに目が見えなかつたらどうするんだ？」

彼女は言いました、「とにかく私は、彼を知れる。」

こう言います、「あなたは どうやって彼を知るの？」

こう言います、「私は彼を知れる。」

こう言います、「クロスビー夫人、百万ドル稼げますよ。」

彼女は言いました、「百万ドルはいりません。」

122 「どうやって彼を知るの？」 彼女は言いました：

私は彼を知るでしょう、私は彼を知るでしょう。
 う。

そして私は主の御側であがなわれ立ちます；

私は彼を知るでしょう、私は彼を知るでしょう。
 う。

123 「私が彼を見えないなら、彼の手の釘あとを感じられる。」
 彼女は敵の門を征服しました。そうです。

124 もしあなたがキリストのうちにいるなら！彼は言いました、「あなたがたがわたしにとどまるなら、わたしの言葉があなたがたにとどまるでしょう；どんな鍵があなたは欲しいか、どんな門を手に入れたいかを尋ねなさい；なんでも望むものを求めるがよい、そうすれば与えられるであろう。もしあなたがたがわたしにとどまり、そしてわたしの言葉があなたがたのうちにとどまり、あなたがたの前に現れるどんな敵の門をも奪うことができる。」あなたはアブラハムの王家の種です。

125 あなたの前にはどんな門がありますか？もしそれが病気なら、それらについてあなたは征服者以上の者です。そうすればこのように言えます、このやさしい古い歌を歌いましょう：

書物にあるすべての約束は私のものです、

すべての章、すべての節の・・・そしてとても
神聖な、
私は彼の神聖なる愛を信賴しています、
書物にあるすべての約束は私のものです。

126 私たちは征服者以上の者であり、そしてアブラハムの種は敵の門を勝ち取るのです！これらは起こるはずがないと彼らは言います、彼らが悪魔と呼びたいとき、またはベルゼブル、あるいは他の何かと呼びたいとき、神は確実にすべての門と敵を征服します。

祈りましょう。

127 主よ、アブラハムの種が・・・彼らはそれを見ることができると知っています、主よ。良い地に当たらないでどのようにしてあの御言葉が落ちることができるのでしょうか？彼らが今理解してくれることを私は祈ります。祈りの列に来るすべての人がいやされますように。

128 主よ、ここに何人かまだいるなら、まだ自白していない者がいるならば、公の場に立ったことがなくそしてキリストのために立っておられ、それらをあなたから奪った彼らのすべての信条や冷めた、形だけの、死んでいるものを否定する準備ができています。彼らが今立っておられますように、そしてこのように言います、「私は彼を救い主として受け入れます。」そうすればあなたはその日に彼らのために立ってください。

129 私たちが頭を下げている間、もしほんの少し立ってくださる方がいれば、祈りのために、このようにいいます、「彼のために今立ちたい、彼が私のためにその日に立ってくださるよう、彼の神聖な臨在で。」私はあなたがたにお願いをします、そしてあなたの名前がいのちの書に記される機会を与え、もしあなたが立つなら。どこかの教会に入れと言っているのはありません。もしあなたがここにいてそしてキリストを知らないのなら、キリストのもとに来てくださいとお願いしているのです。

130 神の祝福を、その子に。もう一人いませんか、このように、「わたしーわたしは今立ちたい。」神の祝福を、お嬢さん。神の祝福を、妹よ。「私は・・・」神の祝福を。神の祝福を。「今日の午後、立場を確立していきます。」こんな素晴らしい人たちが、男性も女性も、立っておられ、「私は今日の午後、自分の立場を確立します。」

131 そしてその日に医者が言うのです、「さて、ポロポロですね；彼の血は流され、死は彼か彼女の、上にあります。」あるいは、ある朝、自分の立場を思い出すでしょう。あなたは彼のために今立っています。

132 「もしあなたが人の前でわたしを恥じるなら、わたしは父と聖なる天使たちの前であなたがたを恥じるでしょう。しかしもしあなたが人の前でわたしを告白するなら、わたしはその人を父と聖なる天使たちの前で告白します。」

133 神の祝福を、妹よ。何人かバルコニーのどこかにいますか？ただいま、私たちが待っている間。何人かは、メインフロアにいませんか？わかりました。あなたを信じます、友よ。

134 もし御言葉が肥沃な良い地に落ちたなら、井戸にいた小さな女性のように、彼女ー彼女は分かっていたのです。彼女は天国に認識されていて、造られる前ー・・・天地が造られる前からあらかじめ知られていたのです。その光が当たったとき、彼女はそれを認識しました。

135 神の祝福を、兄弟よ。それは凛々しいこと・・・神の祝福を、私の兄弟よ。あなたは人生で偉大なことをしてきたかもしれませんが；あなたは今まで最も偉大なことやっています、今、キリストのために立ち上がりましょう。

136 わが天の父よ、今日の午後、種が地面に落ちました。命が芽吹くのが見えます。男性も女性も自分たちの足で立ち上がり、皆が神の目を見ることができ、あなたはどこでもおられ、全てを知っており、全能であると、彼らは見えています。それらはあなたのものであり、父よ。私はあなたに贈ります、戦利品として。

137 彼らの経験が今ここで立ちますよう、自分たちが何をしてきたのかを認識し、これらの価値を知り、軽蔑された数少ない人たちが立って主のもとへ確立されることを。あなたの御前に立つその日までに彼らが真実であり続けますように、そして心地がいいその声がこう言います、「はい、ある日バトン・ルージュで、あるいはデナム・スプリングスという小さな町で、彼は私のために立ちました、父よ、私は彼か彼女の代わりに今、立ちます。」叶えてください、主よ。イエスの御名によって、彼らはあなたのものです。アーメン。

神のご加護を、あなたが立っていることに。神はこれまで…

138 私のために一つやってほしいです。探して、牧師たちがいる近くにいるなら、何人かに会って、話をしてみてください。あなたが洗礼をまだ受けていないなら、キリスト教の洗礼を、受けてください。自分自身を信じる者の中に置いてください、本物の信者に、なりすましの信者ではなく；本物の信者です。

私たちがお祈りしている間、このハンカチのために祈りましょう。

139 天の父よ、このハンカチは今出て行きます；行き先は、分かりません。どこかの沼地でこのハンカチが来るのを座って待っている、年老いた盲目の父親かもしれません；病院のベッドに横たわる小さな赤ん坊；母親は立って、必死に、ハンカチが戻ってくるのを待っています。天なる父よ、あなたが彼らと一緒に行ってくださるよう祈ります。そして今日あなたの存在のしるしとして、御言葉を宣べ伝えている間も私たちの信仰はあなたにあるよう、その信仰がアブラハムにあったように、その生み出された信仰をイエス・キリストによって私たちに与えられたと、このハンカチとともにそして置かれるすべての人たちを癒しますように。イエスの御名によって、私たちは彼らに送ります。アーメン。

140 祈りの列を呼ぶ前に、ちょっと待ってください。全能であって強力な神、偉大な方、すべてをお持ちの方…どうか、友

人たち、私一人は病人のために祈り始めます、そして私は・・・おそらく、私たちが降りるとき、私一人はあなたに何も言えないかもしれません；何人かはその時間になる前に去るかもしれません。あなたがどんな人であれ、もしあなたがその前に、立っていなかったら、そして確信していなければ・・・

141 もしあなたが教会のメンバーであるなら、それは良いことです、しかしそれだけでは十分ではありません。わかりますか、お金持ちの青年は教会の一員でした。わかりますか？彼はイエスに永遠の命を得るためにはどうしたらいいのか尋ねました。彼は決してそれを受け入れませんでした。彼は立ち去ったのです。あの若者はなんて愚かなことをしたのでしょうか。彼と同じ身になってはだめです。これは彼が最後に確認されたということ覚えていますか？その後しばらくして、彼は繁栄しました。彼はもっと金持ちになり、彼が持っている納屋も破裂するほど。しかし彼の最後の姿を見つかる時、地獄で、炎に苦しめられていたのです。ならないで、あなたにはそうならないで欲しいです。キリストを受け入れて下さい。

142 その若い人たち、その若い女の子たち、若い男の子たち、人生の折り返し地点にいる人たち、そうすることを願います。私を聞いてください、あーあなたの兄弟として、あなた方を愛する者です。私がここにいるのはあなた方を愛しているからです。私は神を愛しているし、あなた方を愛しています、そしてあなた方を愛せないで私は神を愛することはできません。

143 それよりも、もし言いたいがありましたら、そこにいる私の息子か、私の子どもの一人に伝えてほしいです。私は・・・ただ、私ではなくても言ってください。どんな親でもそうすることでしょう；神もそうなのです。わかりますか？彼の民を愛しなさい。互いに愛し合いなさい。

144 あなた言います、「何のために叱るのですか？」純粋な愛は矯正なのです。

145 子どもが路上に座り込んでいる場合；あなたは言いま

す、「さて、子どもがそこに座っている。彼はそんなことしちゃいけないんだけど、小さな彼の気持ちを傷つけないんだ。」あなたは彼を愛していません。彼はそこで殺されます。彼を愛しているなら、彼を連れてお仕置きをするでしょう。彼を従わせるのです。

146 それが神のやり方です。愛とは矯正であり、それこそが純粋な愛なのです。

147 説教者が立つときそしてあなたたち女性に短い髪を許し、ペンキを塗ったりとかして、そしてあなたたちを正さないとき、そこには純粋な愛はありません；それを叱らないのです。そしてあなた方男性には三回も四回も結婚させ、その他もろもろのことをさせて、それで何とかやっていき、そこに純粋な愛はありません。教会に入信させ、そしてあなたの背中を撫で撫でして、信条を押し付けて、こう言います、「あなた達がやることは、聖なる教会に入れればいいだけだ、」そこに愛はありません。それか、あるいは、その人が完全に迷ってしまっていて、自分自身、見えていないのです。

148 純粋な愛は矯正であり、そしてあなたを神の御言葉に戻すのです。

149 イエスを見てください、どのように、彼は言います、彼らの代わりに死ぬるほど、彼らのことを愛していると、彼ら自身が彼の尊い血を求めていたときでさえ。

150 その偉大なる聖霊が今…少しだけ待ってください。聖霊の油注ぎがわたしに臨み来るのを待ってから、私たちは始めるつもりです。私は説教をしていました。ご協力に、感謝いたします。

151 さあ、ここにいる皆さん、どこにいても、建物のどこにいても、少しの間だけ祈りしましょう。言ってください、「主イエスよ、助けてください！助けてください！み衣に触れさせてください。」イエスは言いました、知っていますか、あの女性が彼の衣を触ったとき、彼は肉体的に、感じなかったのですが、彼女に振り返って彼女が誰で何をしていたのか知って

いたのです。彼は今日の午後も同じイエスであり、この大祭司は触ることができるわたしたちの弱さを思いやることができるお方です。

152 あなた方は信じていますか、あなたたち一人一人は、その神が、約束がしてくれたことが真実であると、もう一度（彼がお見せしてくれるよう）私たちはかつてのソドムのように生きているということをも？どれくらいの方が信じているのでしょうか、この建物の中で、手を挙げてください。

153 私たちは、以前のソドムのように、生きています。全体の制度が汚染されており、世界制度、何もかも、教会制度、政治制度。そこには何もありません。政治は腐敗しています。それらの制度は、どこも、独裁者も、すべてが腐敗しています。教会にも同じことが起きています。家族達にも同じことが起きています。まさに腐敗している、ソドム！

154 それから、思い出してください、神は以前そうおっしゃったのであって、それから思い出してください彼自身が肉体となって示すと彼は言いました、そして約束の御子がある場面に現れる前に、彼がソドムにやっていたように同じことをする。その約束された御子のさきがけとなるためにつかわされたのを彼は約束してくれたのです、彼が最初にそうしたように、それは紹介されます；そして彼は言います、「人の子が現れるそのときに。」

155 私はあなたを知りません。さて、トンプソンさん、その女性の悩みや合併症は、神が治してくださると信じていますか？あなたは信じられますか？信じられる？トーマス、トーマスさん、彼は治すと信じますか？手を挙げてください、それなら。

156 あなたのすぐ後ろに座っている女性がいます。彼女は祈っています。彼女は関節炎持ちです。

157 彼女のすぐ隣に座っているその一人、胃の調子が悪く、彼も祈っています。あなたがたは見逃してしまうでしょう、もし見なかったら。あなたはここの出身ではありません。あな

たはミシシッピー州出身です。あなたはストリンガー夫妻ですね。もしあなたが心から信じるなら、イエス・キリストはあなたを治すことができます。もしあなたが信じているならね。信じていますか？それならあなたはそれを受け取ることができます。よろしい。人々があなただと分かるように手を挙げてください。

158 私は彼らを知りません。私は人生の中で彼らを一度も、見たことはありません。あなたは信じる必要があるのです、友よ。彼は身分を明らかにします。あなたは心からそう、信じますか？

159 あなたはなぜ首を振って、先生、そしてそんなふうに私を見たのですか？はい、そうです。そうしていただいたので、少しお話をさせていただきます。あなたはそこに座っている年老いた紳士ですね、私の方を見ています。彼はとても真摯に、私を見ていました。彼はそれを信じていました。あなたは脳卒中になった人のために祈っています。しかし—しかしあなたが祈っていることは、必要としているのは、あなたは聖霊の洗礼を求めているのです。その通りです。アーハッ。その通りです。あなたがそれを信じるなら！その女性、あなたは仕事を探しています。それに、私が神の預言者であることをあなたに知ってもらうために、またはしもべということを、あなたは二回の手術を受けたのです。それが原因であなたは弱っています。あらゆる状態、精神的な悩み。あなたにすべてが解決したと言いたいのです。あなたの信仰があなたを治します。

160 [テープの空白部分—Ed.]・・・あなたの隣に座っています。彼女は祈っています。ここを見てください。彼はあなたの声を聞き、あなたは彼に触れました。あなたのことは知らないけれど、主は知っておられます。あなたが祈っていたことを私は教えます。あなたは心から信じますか？あなたは胆嚢の悩みがあり、それらを祈っています。神があなたを治すまたは癒してくださると信じますか？あなたはスミスさんですね。その通りですね。あなたの手を挙げてください。

161 分かりますか、彼は身分を明らかにしました。それは何でしょう？それはアブラハムの種、アブラハムにあった信仰、主イエス・キリストはわたしたちのうちにおられ、御言に伴うしるしをもって、その確かなことをお示しになられたのです。

162 どなたですか、あと何枚のカードを祈るべきでしょうか、手を挙げてください、カードはお持ちですか？ああ、祈りの列を始めた方がいいですね。

163 あなたは分かりますか、理解されていますよね？今その霊が・・・癒す訳ではありません。それは彼がここにおられるということを示しているだけなのです。あなたの牧師さんたちも同じように病人を祈る権限を持っています。彼らが治す訳ではありません；そうです、確かに彼なのです。しかし彼ら一しかし彼らにも同じ権限があるのです、「信じる者にはこのようなしるしが伴う。」

164 では私の友人達である牧師をここで。（ここに来ている人たちに、声をかけてもいいですか・・・？・・・）

165 ここにいる牧師の皆さんの中で心から信じている人は何人いますか、この聖職者たち、信じていますか？ああ、感謝します。もし立っていただけたらどうでしょう？こちらに来てください、私としばらく一緒に立ってください、こちらの方に、病人を祈りましょう。こちらの方に来てください。今のあなたは癒しの行いを見られます、何が起こるのか見てください。

166 こちらの方に来てほしい、二つの一の列を作って行きましょう。しばらくしたら私もそちらの方に降ります、病人を祈るために。私は自分が信者であると認識されたいと思っている牧師がほしいのであって、あなたが信じていたのは、あなたがここに来たのは、あなたが聖なる清らかな人生を送っている、ということです。思い出してください、こちらに近づいている彼らを見てください、キリストの福音を象徴しているのです！

167 ブレア兄弟、あなたがそこにいると分かっています、あなたとパット兄弟。いつものように二つの列を作ってみませんか、もしよろしければ、あなたとブラザー・パットで。

168 信じようとする牧師たちが信じることになります！今、見てください、もし御言葉によって認識されることが神にできるなら、彼の御言葉により、どれほどの方がそれを知っていてその聖書に、イエスはこう言いました、「信じる者にはこのようなしるしが伴う。病人に手をおけば、いやされる」？牧師の皆さん、あなた方は信者であることを確認するためにここに来られました。そうですね？あなた方は信者です（そうではないでしょうか？）、ここに立っているはずがありません。イエスは今何を言いました？「信じる者にはこのようなしるしが伴う。」私もあなたと同じ信者なのです。

169 私は降りていきます。これらは人々は私たちの民であり、私たちはこの群れの羊飼いなのです。私は今あなたと一緒に網を張るために降りていきます、あなた達と一緒に私の手を置いてください。これらの人たちが来たとき、もしあなたに少しでも疑うような考えがあるなら、今すぐそれを取り除いてください；それらの人たちが来たとき、彼らの一人一人がやって来られ、そして私たちはその人の上に手を置いたとき、彼らは癒されるのです。あなた方は心から信じていますか、皆さん？

170 彼らが通過していく中ここに何人の方が他の人のために祈るでしょう、手を挙げてください、「私は祈ります。」

171 覚えていてください、あなたの父親かもしれませんが、あなたの母親、あなたの娘か息子、妹か弟。もしそれが自分自身のためではなくても、誰かのためであれば、この列を並んでいくのです。もしそれが自分たちのだったら、そして彼らが癌により死にかけ、または恐ろしい病気だとしたら、男性の彼らには心から誠実であってほしいと思いませんか？確かに、私たちはそうします。

172 今、私は思います、どのようにして・・・今この列があるこ

ちらでは、この通路の、**あちら側**に立っていただいて、祈りのカードと一緒に。右側の組みにいる全員は、あちら側に立ってください。さて、そこの、左側の組みはお待ちください；全員が混雑しています、あなたは見えますか、そして私達は何をすればいいのかどのようしていいか、分からなくなっています。問題ないですね、**こちらの**組みにいる全ては、ここに立ってください。今、右手の組みにいる全ての方は、ここを通って行きます、降りていくためにはここを回って、通るからです。

173 そしてどのように、彼らがどうやって出られるかだ、ボーダーズ兄弟？右側にあるドアから出ましょう、そこへ曲がってまた建物の中に入ってください。

174 では、**こちら側**にいる方が数分後に、呼ばれたら、彼らは立ちます。そしてどうなるか今見てみましょう・・・問題ないですね、**こちらの**組みにいる方は、こちら側に向いてください。祈りのカードを持って、こちら側に来てください。そしてバルコニーにいる方々、列の最後尾にいる彼らと会うために下って歩いてください。今その左手部分にいる方々は、左側に進んでください。そしてそれから、見えていますか、あなたはあなた達の列を作ってそして**その**道へ戻ってください；あちらへ回って、**その**道を曲がってください。わかりますか？そして回ってその列を追って、そうすればわたしたちは列を混同することはないでしょう。

175 そしてバルコニーの上にいる方、彼らがそこで作った通路の方を歩き、そして彼らが通り過ぎると少しずつその列に付いて行きましょう。

176 今、後ろの方へ向かって歩き、一人一人が、この列のここへ繋がるように後ろの方へ向かって歩いてください。こちらの方へ回って、ここに行き、この列のここに繋がるようにして歩いて回ってください。

177 ああ、今何が起きようとしているのでしょうか！何が起きるのでしょうか！このような時こそ何かが始まるようとしているので

す。問題ないですね。

178 そのとき、そういうことです、後ろの方の**その道**へ向かって、そしてその列に繋がるように、そのようにです。この通路を通ってください。今そこが通り道です。

179 そして今あなた方が立っていると、全員が立ち上がって、私たちは祈りを捧げます。そしてこの会衆は私と一緒に祈り、それで彼らは治るのです。信仰を持ちなさい。そしてしないで…

180 こちらの方に回って、ずっと後ろの方へ行き、その辺を回ってそしてこの後ろにあるこの列に続いて行きましょう。回って行き、一本の長い列を作りましょう。**その道**に向かって回り、そして列を続きましょう。そうです。

181 皆さん心から祈りましょう。信仰に正直になって下さい。その群衆を気にしないで下さい。思い出して下さい、私たち—私たちはイエス・キリストの御前に包まれているということを、彼がわれわれのうちにしてくださったことについて讃えることが私達にかかっています、それは彼の御言葉によって信仰を持つことです。

182 それでいいのです。今それはそれで良いのです。その列の流れがうまくなっていると私は思います。

183 彼ら全員が立っているとき、この建物の中にいる、すべての人が、頭を下げてのほしいです。

184 主イエスよ、もうすぐ起きようとしています。今正しい決断をするときです。私たちは彼がここにおられると信じていますか？私たちはあなたを愛しているのでしょうか？私たちの信仰は、主よ、私たちが求めようとしていることに対して十分でしょうか？この人たちが列に並ぶことにより自分たちの身分を明らかにしています。主よ、これが無駄になりませんように。こうなるよう、主よ、彼らがこの道を通り過ぎるとき、キリストの下を歩いて行くように一人一人が通れますように、彼がここにおられることを私たちは知っているからです。そして私たちは彼らが癒しを受けることを祈ります。翌

週またはその翌週になっても、これらの人々が彼らの牧師達に行かれると確信していて、女性の悩みを抱えている女性たち、胃の悩み、男性の前立腺、あらゆる悩みを、治しておられ、こう言います、「あのね、あの病気もうなくなったよ、」彼らはあなたの臨在の中におられるからです。彼らが今通れますようそして—そしてあなたがそのために亡くなられたこれを引き出せるように。彼らはアブラハムの種であり、あなたは彼らのために打ち勝ちました。彼らが来てそしてあなたが彼らに与えてくださったものを受け取ることができますように。

185 そして、サタン、自分が敗北した存在であることを知るまで、あなたは今週さらし者だ。イエス・キリストはカルバリーであなたを倒した。彼は私たちを義とするために、三日目によみがえらせ、そして彼は今私たちのうちに立っておられます。そして私たちの信仰は彼を見ている、そしてあなたやあなたがしたことから離れている。イエス・キリストの御名によって、この人たちから離れなさい。

186 [テープの空白部分—Ed.]・・・?・・・私たちは師が命じられた通りにやりました。あの列を通った人の中で何人の方が、自分は治ると信じていたのでしょうか、手を挙げてください。私も一緒に手を上げます。

187 私たちがそこでやっていたことは、終わる頃に、この群れの聖職者のごとして；彼らの多くは病気持ちであり、私はそれを知っていましたが、しかし彼らは会衆を集めるために彼らが通れるか通れないかに関わらず、彼らは力を尽くしてくれました。それが真の羊飼いです。そして聖霊が私に言ったのは、「彼らが互いに手を取り合うように言いなさい。」私たちは心を合わせそして網を張り、そして祈りを捧げ、皆とです。

188 イエスよ、彼らを治してください、彼らも。そして彼らを強い羊飼いにして下さい、主の御言葉に強くなる。

189 神よ、兄弟たちに、あなたの心の望みの全てを彼らと与えてくださいますように。あなた方が日々彼に仕えるよう、そしてあなたの人生に神の力を与え、この素晴らしい人たちに

奉仕することができますように。イエス・キリストが、私たちとともにおられ、そしてどんな時もあなた方のうちにおられ、彼があなたにご自分をあらわした今まで以上に彼があらわしてくださいように。

190 ここにいる人たち、あなた方の中に足が不自由だったり、しばらくの間は違いがわからない人もいるでしょう、あなたは違いがわからないかもしれません。アブラハムがしたことを見てください。彼はそんなの気にしていません；彼はそれを見ていないからです。あなた方は自分の症状を見ないで下さい。彼が言ったことを見てください。もし君がこう言います、「まだ痛みを感じる、」それはあなたには関係のないことです。あなたは神がおっしゃったことやったのです。わかりますか、それらを見てはいけません。神がおっしゃったことを見て下さい。神がそうおっしゃったのです！私は信じています。思いませんか？私は心から、信じています。

191 また会うその時まで主なる神の祝福を。私の祈りはいつもあなたのために；夜が暗くなりすぎない、雨が強く降りすぎないことを。私はあなたのために祈り続けます。私のためにも祈って下さい。また会うその日まで、神の祝福を。今その牧師の兄弟に、そうです。 

64-0322 試練を越えて勝ち取る敵の門
デナム・スプリングス・ハイ・スクール
デナム・スプリングス, ルイジアナ州アメリカ合衆国

JAPANESE

©2024 VGR, ALL RIGHTS RESERVED

VOICE OF GOD RECORDINGS
P.O. Box 950, JEFFERSONVILLE, INDIANA 47131 U.S.A.
www.branham.org

著作権表示

すべての権利を留保しています。この本は、個人使用のために家庭用プリンターで印刷されるか、イエス・キリストの福音を広めるための手段として無料で配布することができます。この本は、販売、大規模な複製、ウェブサイトへの掲載、検索システムへの保存や他の言語への翻訳、または Voice Of God Recordings® の書面による明白な許可なしに資金集めなどに使用することはできません。

詳しい情報や入手可能なその他の資料については、お問い合わせください：

VOICE OF GOD RECORDINGS

P.O. Box 950, JEFFERSONVILLE, INDIANA 47131 U.S.A.

www.branham.org